



Table of Contents

- ▼ ① National Parks: Iconic Natural Environments Overlapping with Bear Habitats
- ▼ ② About Asiatic Black Bears and Brown Bears
- ▼ ③ Preventing Encounters
- ▼ ④ Reducing the Risk of Close Encounters
- ▼ ⑤ Managing Food and Garbage
- ▼ ⑥ Handling Unexpected Encounters
- ▼ ⑦ What to Do If Attacked

④ Reducing the Risk of Close Encounters



出典：環境省「National Parks of Japan」サイトより（JNTOグローバルサイト内）

JNTOサイト内の国立公園公式ウェブサイトにおけるクマ情報ポータルサイトの掲載（英・中（繁・簡）・韓）



国立公園ほか
クマの生息域を訪問する際は、
事前に必要な装備を整え、
対策を確認しましょう。
また、最新の出没情報を確認め、
クマに遭遇しないように
気を付けましょう。

クマによる事故等に
遭わないために



クマへの襲いやり禁止
Do not feed bears

ゴミ放置禁止
Do not leave rubbish

クマに接近しない
Do not approach bears

Preventing Bear Encounters and Incidents

When visiting national parks or other areas where bears are found, please take necessary precautions to avoid encounters. Ensure you have the right gear, familiarize yourself with safety protocols, and always check the latest bear sighting reports before heading out.



環境省
Ministry of the Environment

訪問前に、必ず関連WEBサイトを確認ください
Be sure to check the relevant website before visiting.



国立公園などでは、クマの出没情報に注意してください
For information on preventing bear encounters, please visit the relevant website.



観光庁
Japan Tourism Agency

全国版注意喚起ポスター（日・英）の配布
（観光庁からは観光案内所・駅等へ、環境省からは全国の国立公園ビジターセンター、関係自治体等へ配布）

クマ対策にかかる観光ピクトグラムの作成

- 令和7年度補正予算（地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策事業）において、クマの出没情報など多言語での正確な情報発信に向けた環境整備を支援する予算を確保。
- また、環境省協力のもと、登山客等に守っていただきたい行動（クマへの餌やり禁止、ゴミ放置禁止、クマに接近しない）についての「観光ピクトグラム」を新たに作成（令和7年12月19日にプレスリリース）。
- この「観光ピクトグラム」も活用いただきながら、令和7年度補正予算も活用し、地域におけるクマの出没情報など多言語での正確な情報発信に向けた環境整備を支援。



「Do not feed bears」



「Do not leave rubbish」



「Do not approach bears」

【参考】「観光ピクトグラム」について

観光庁ではこれまでも、訪日外国人観光客に守っていただきたいマナー（シカへの餌やり禁止、私有地や線路への立入り禁止など）についての「観光ピクトグラム」を作成し、地域みなさまにご活用いただいております。

（観光庁のHPからどなたでもダウンロードしてご利用いただくことが可能です）

地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業

事業目的・背景・課題

- 災害の激甚化・頻発化や訪日外国人旅行者の増加に伴い、訪日外国人旅行者が、旅行中に災害に遭うケースや医療機関を受診するケースの増加が見込まれる。
- 更なる地方誘客促進に向けて、訪日外国人旅行者が日本各地を安全・安心に訪れることができる旅行環境整備が必要であり、地域における観光客を含めた危機管理体制の検討・構築、クマの出没情報など多言語での正確な情報発信、観光施設等における非常時対応機能強化、医療機関におけるキャッシュレス決済等の整備等を推進する。

災害時、観光案内所に
観光客が集まっている様子



雪害の例



事業内容

①地域における観光危機管理計画の策定補助

- ・ 各地域における訪日外国人旅行者を含めた観光客に対する災害時の対応方針等の計画策定を支援する（既存の地域防災計画等について観光に関する記載を追記・拡充する対応も支援対象）。

②観光施設等の避難所機能・多言語対応機能の強化

- ・ 訪日外国人旅行者等の安全・安心確保のため、観光施設等における非常用電源装置や災害用ドローン、熱中症対策設備等の整備、クマの出没情報など多言語での正確な情報発信の環境整備等を支援する。

③医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化

- ・ 訪日外国人旅行者が医療機関を受診する場合の利便性向上に向けて、キャッシュレス決済の導入、医療機関内の多言語化等の環境整備を支援する。

事業イメージ



非常用電源装置



災害用ドローン



キャッシュレス決済環境



熱中症対策設備



多言語による情報発信

事業スキーム

- ・ ①：直接補助事業（都道府県の場合：補助率 2 / 3、上限500万円。市区町村の場合：補助率 1 / 2（市区町村が所在する都道府県が策定済み又は策定予定とみなせる場合には、補助率 2 / 3）、上限500万円。 直接補助対象：地方公共団体
- ・ ②：直接補助事業（補助率 1 / 2） 直接補助対象：民間事業者、地方公共団体、DMO等
- ・ ③：直接補助事業（補助率 1 / 2） 直接補助対象：民間事業者等

観光庁・JNTO SNSアカウントによる注意喚起（令和8年5月19日）



観光庁Xでの周知



【安全提醒】请注意熊类出没

随着春季到来，日本各地接连出现熊类出没的情况。
敬请各位游客关注当地政府发布的熊类出没信息，
并根据实际情况，携带熊铃等可发出声响的物品，并准备防熊喷雾等防范用品。

网页链接

#JNTOsafetravel#



JNTOのXやWeibo（英語・簡体字）での周知
※他にもJNTOのFacebookで繁体字や韓国語でも周知

観光庁長官会見での注意喚起（令和8年5月20日）

- クマの出没に関する観光客等の皆様への注意喚起の呼びかけです。
- 現在、各地でクマの出没が相次いでおります。観光庁においてはクマの出没に関して、インバウンドを含む観光客への注意喚起としまして、ウェブサイトやSNSを通じた多言語による情報発信のほか、観光地における多言語看板の設置など、地域が行う情報発信への支援に努めているところです。
- 観光客や観光関係者の皆様におかれましては、地方自治体が発信するクマの出没情報などに十分注意を払っていただいた上で、観光を楽しんでいただくようお願いします。
- 具体的な注意事項は、環境省のホームページ等をご参照いただければと思います。